

# 平成28年度予算見積調書

課室名：温暖化対策課

担当名：埼玉ナビゲーション担当

内線：3032

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B13	先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	ヒートアイランド対策推進費	
事業期間	平成28年度～平成30年度	根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律 埼玉県地球温暖化対策推進条例			戦略項目	09 新エネルギー埼玉モデルの構築		
						分野施策	040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進		
<p>1 事業の概要</p> <p>ヒートアイランド現象は、人工被覆面の増加、都市への建築物の集積、人工排熱の増加などが主な原因であり、都市化した地域に共通した大きな課題となっている。そこで、総合的にヒートアイランド対策を施した先導的な住宅街モデルを示し、県が「先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル」として認証を行うことにより、民間事業者の持つ技術力、営業力と県の信用力を合わせ、住宅街単位でヒートアイランド現象の緩和を図る。</p> <p>(1)先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル事業 35,252千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1)事業内容</p> <p>風の流れに配慮するなどヒートアイランド対策に係る街区計画をもとに、環境性能舗装や統一性のある緑化の取組、住宅の断熱化など、総合的なヒートアイランド対策を施した先導的な住宅街の開発について、県で審査を行い、「先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル」として認証するとともに、事業費の一部を補助する。民間事業者の持つ技術力、営業力と県の信用力の相乗効果で、ヒートアイランド対策の県全体への普及を図る。</p> <p>ア 先導的ヒートアイランド対策住宅街への補助 35,143千円 下記の先導的ヒートアイランド対策にかかる経費の1/2を補助</p> <p>(ア)良好な住宅街形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒートアイランド対策にかかる街区計画の策定</li> <li>・環境性能舗装</li> <li>・公園等緑化面積の超過設置（彩の国みどりの基金を充当）</li> </ul> <p>(イ)良質な住宅促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根の断熱化</li> <li>・外壁の断熱化</li> <li>・冷却システムの設置（2種類以上）</li> </ul> <p>(ウ)提案型ヒートアイランド対策</p> <p>イ 先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル認証事務費 109千円</p> <p>(2)事業計画</p> <p>平成28年度から平成30年度までに3か所の先導的モデルを創出する。</p> <p>(3)事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風の流れに配慮したまちづくりや道路への蓄熱の抑制などにより、住宅街におけるヒートアイランド現象が緩和される。</li> <li>・先導的モデルとして県内外に積極的に発信することで、住宅街におけるヒートアイランド対策のあり方を示すことができる。</li> <li>・県が先導的モデルとして認証することにより、事業者にとってもヒートアイランド対策に積極的な優良分譲事業者として企業イメージの向上につながる。</li> </ul> <p>(4)県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>開発事業者から先進的な取組の提案を募り、補助を行うことで民間の活力を引き出す。</p> <p>(5)その他 なし</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県1/2)民間事業者1/2</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>普通交付税（包括算定経費） (区分)企画費（細目）環境保全対策費 (細節)環境保全対策費 (積算内容)地域の実情に応じた環境保全対策</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円</p>									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	35,252	繰入金						33,902	35,252
前年額									